

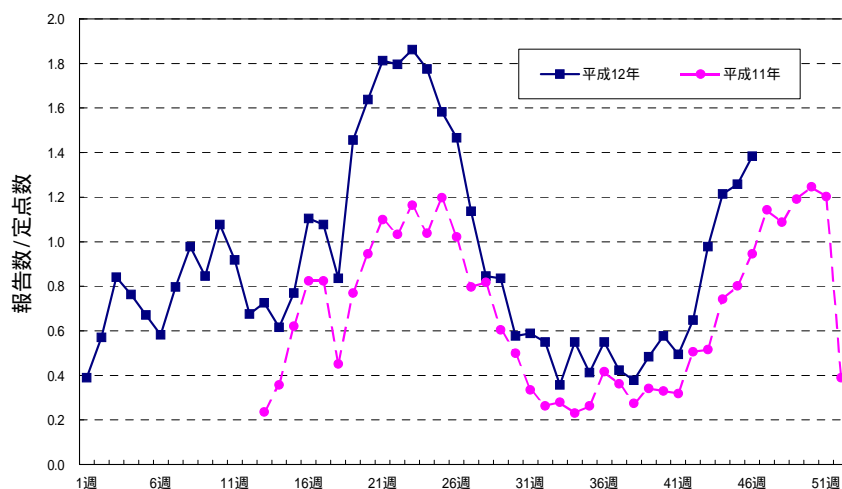
愛知県感染症情報

平成 12 年第 46 週 (11 月第 3 週)

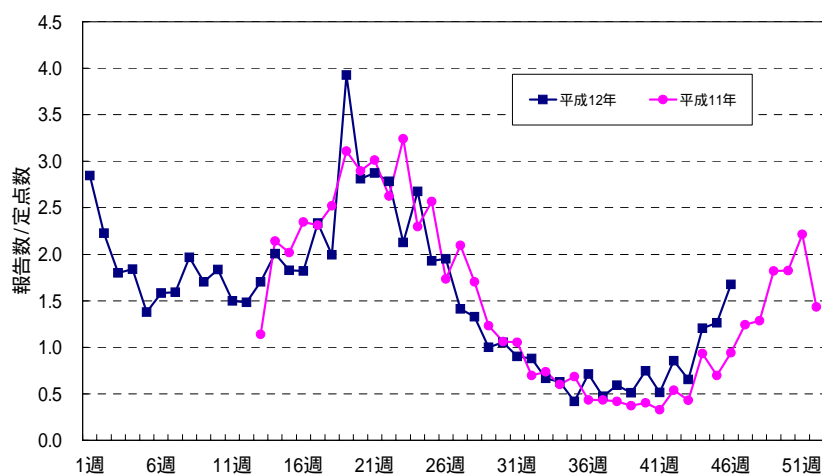
(コメント)

水痘、流行性耳下腺炎及び A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎感染症は、流行中でいずれも昨年の報告数より多い状況が続いています。

手足口病も流行が続いており、先生方からのコメントにも目立ちますので注意してください。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)



水痘(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)

(先生方からのコメント)

- 尾張西部地区
 - ・ 手足口病、ムンプス、流行中
溶連菌感染症も少しあります
(一宮市 あさのこどもクリニック)

- ・ 先週同様、幼保育園にて手足口病、流行中
成人の手足口病 1 名あり
(一宮市 後藤小児科医院)
- ・ 病原性大腸菌 O-18 14 歳男、O-1 2 名(3 歳男、6 歳男)
カンピロバクター 2 名 (9 歳女、6 歳女)
マイコプラズマ肺炎 2 名 (1 歳男、3 歳男)
アデノウイルス陽性 3 名 (1 歳女、2 歳女、7 歳女)
インフルエンザ B 抗体異常上昇者 14 歳女
インフルエンザ A ウイルス抗原迅速反応陽性者 27 歳女
パラインフルエンザ(型)陽性者 10 名 (1 歳男と女、2 歳男
4 名、3 歳男 1 名と女 2 名、4 歳女)
(尾西市 城後小児科)
- ・ 水痘、溶連菌、おたふく続発中。
手足口病も続いています。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 手足口病、水痘の小流行が見られています。
溶連菌感染症 4 名ありました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎 5 歳女
肺炎、溶連菌感染症ともに減少傾向
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
 - ・ 3 歳男、手足口病による無菌性髄膜炎ありました。
溶連菌感染症が増えています。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ 手足口病がまだ散発してみられ、ヘルパンギーナ様の口腔内疹に
発熱を伴う例も少し目立ちました。
その他、溶連菌、水痘、突発性発疹散発。
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ 下痢嘔吐が増えています。手足口病あいかわらず多くみられます。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - ・ まだ手足口病がみられます。喘息発作が多いです。マイコプラズ
マ肺炎もみられました。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ 溶連菌感染数名有り
(小牧市 小牧市民病院)

- ・ 手足口病の流行が続いています。
（小牧市 志水こどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌 O-1 VT1・VT2(-) 7ヶ月男
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ サルモネラ腸炎 5歳女
病原性大腸菌 O-18 8ヶ月男
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- 西三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 O-1 VT(-) 1歳男
（岡崎市 花田こどもクリニック）
 - ・ サルモネラ O-4 2歳男
病原性大腸菌 O-18 VT1・VT2(-) 7歳
（岡崎市 にいのみ小児科）
 - ・ 手足口病は兄弟例です。
（西尾市 やすい小児科）
- 東三河地区
 - ・ 水痘が流行しています。
感染性胃腸炎が増えています。
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）
 - ・ 水痘 12歳男 平成2年に水痘ワクチン接種
ディレクティジェン FluA(+) 30歳女 39.9 第2病日
（蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院）
 - ・ 水痘、ムンプス、まだ流行しています。
ムンプスは、減少へ。
（田原町 かわせ小児科）

（1～3類感染症の発生状況）

腸管出血性大腸菌感染症患者2名。

- ・ 安城保健所から報告の3歳女。11/9発病、11/10初診、11/11診定。
菌型は、O-157 VT1・VT2(+)。
- ・ 岡崎保健所から報告の1歳男。11/11発病、11/13初診、11/16診定。
菌型は、O-157 VT1・VT2(+)。

（全数把握の4類感染症の発生状況）

急性ウイルス性肝炎患者1名。
ジアルジア症患者1名。
Q熱患者1名。
クロイツフェルト・ヤコブ病患者1名。

44 週（10 月 30 日～11 月 5 日）の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は鳥取県で定点当たり 7.2 の報告がある。ヘルパンギーナは愛媛県で定点当たり 2.3 の報告がある。また、水痘、麻疹、急性出血性結膜炎などの定点当たり報告数も例年より多くなっている。水痘は山形県で定点当たり 4.6 の報告がある。麻疹は奈良県と高知県で報告数が多くなっている。鳥取県では無菌性髄膜炎の報告が今週も多くなっており、一部の患者の検体からエコーウイルス 9 型が分離されている。

（Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報）